

第11回

「新型コロナウイルスの影響に関する緊急実態調査」

報告書

令和3年（2021）年4月

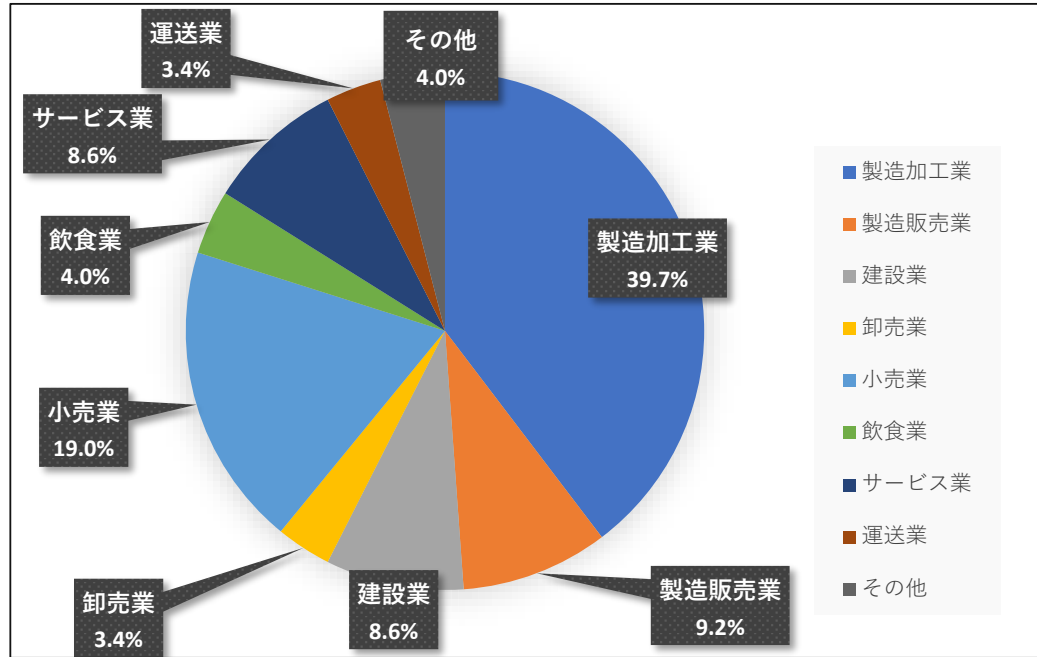
加西商工会議所

調査概要

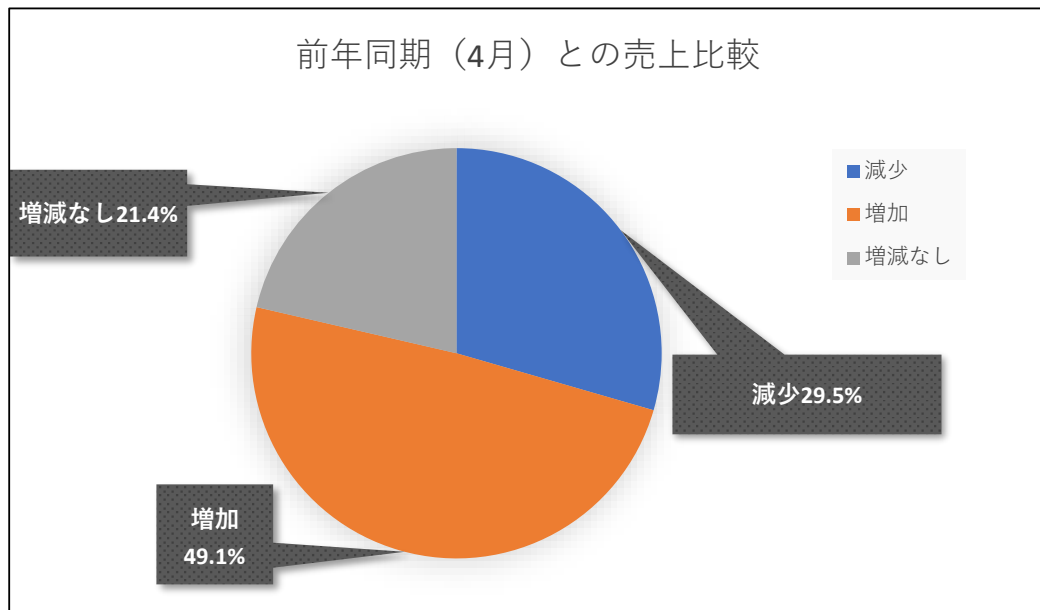
- 1 調査目的** 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、企業経営への影響について、その実態を把握することにより、今後商工会議所事業を行う上での基礎データとするため。
- 2 調査期間** 令和3年5月18日～令和3年5月24日【7日間】
- 3 調査対象** 388件
製造加工業
製造販売業
建設業
卸売業
小売業
飲食業
サービス業
運送業
その他
- 4 調査方法** 調査票をFAXにて送信し、FAXにて回答
- 5 有効回答数** 174社（回答率44.8%）

調査結果

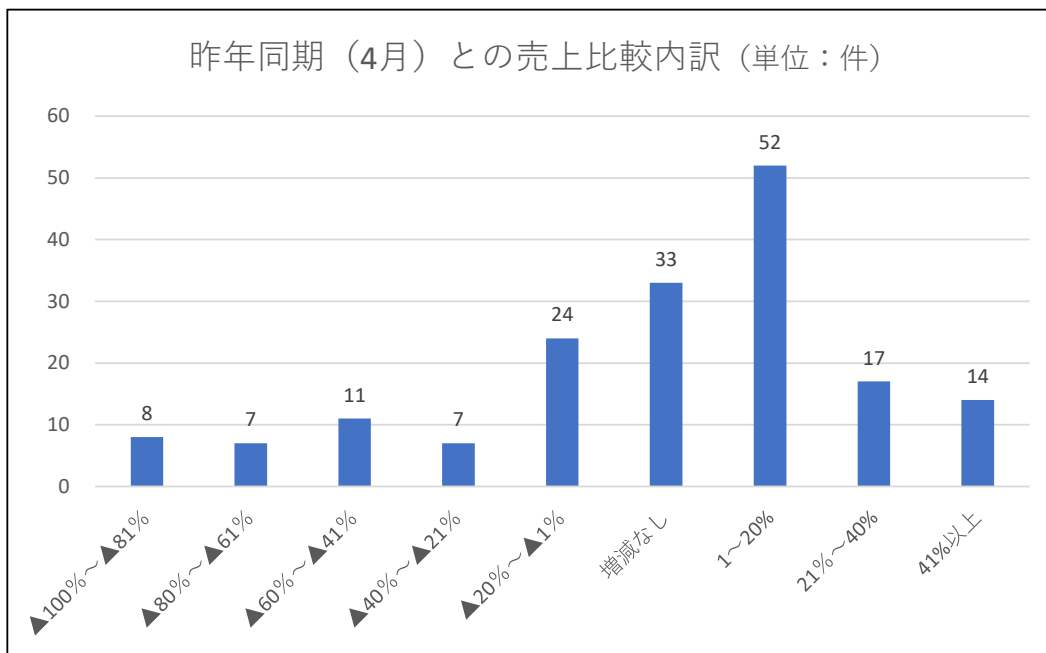
【回答企業の業種別構成】



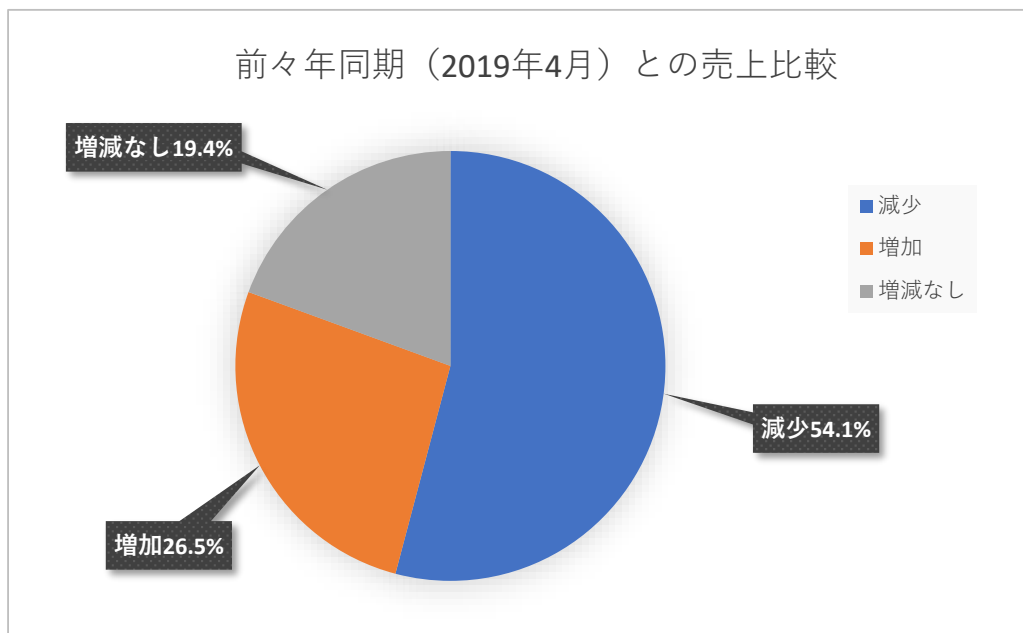
(1) 前年同期（4月）との売上比較



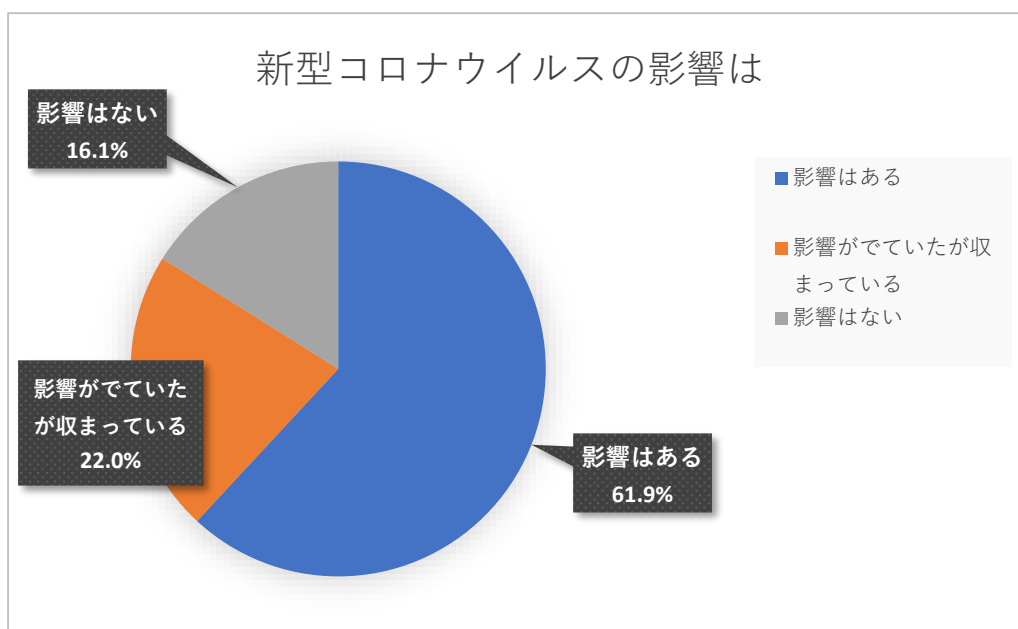
(2) 前年同期（4月）との売上比較内訳



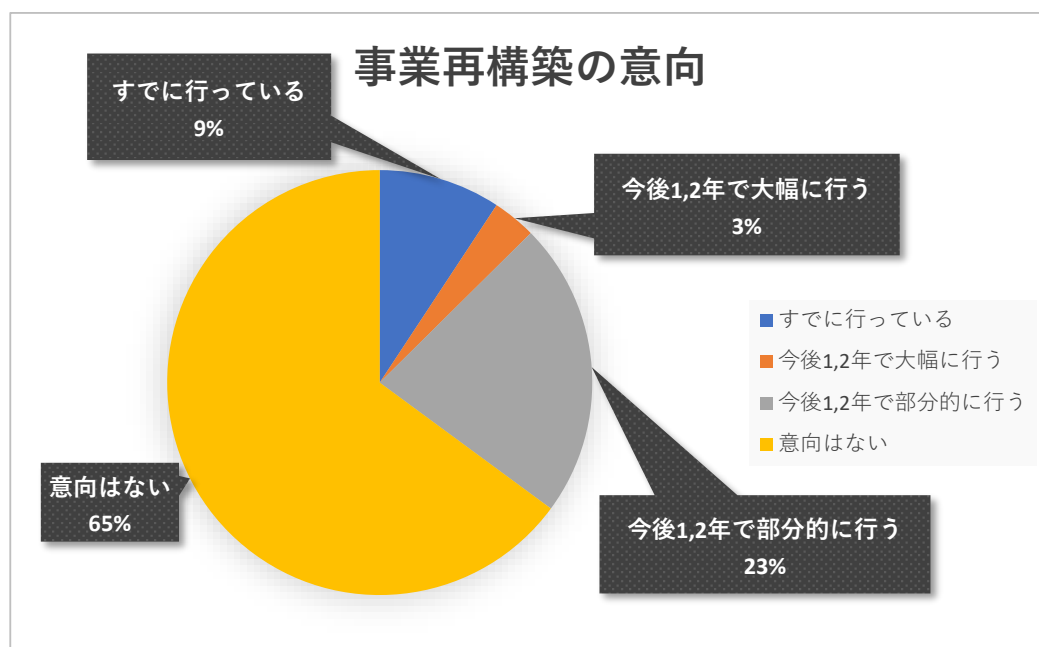
(3) 前々年同期（2019年4月）との売上比較



(4) 現在、新型コロナウイルス感染症の影響はありますか



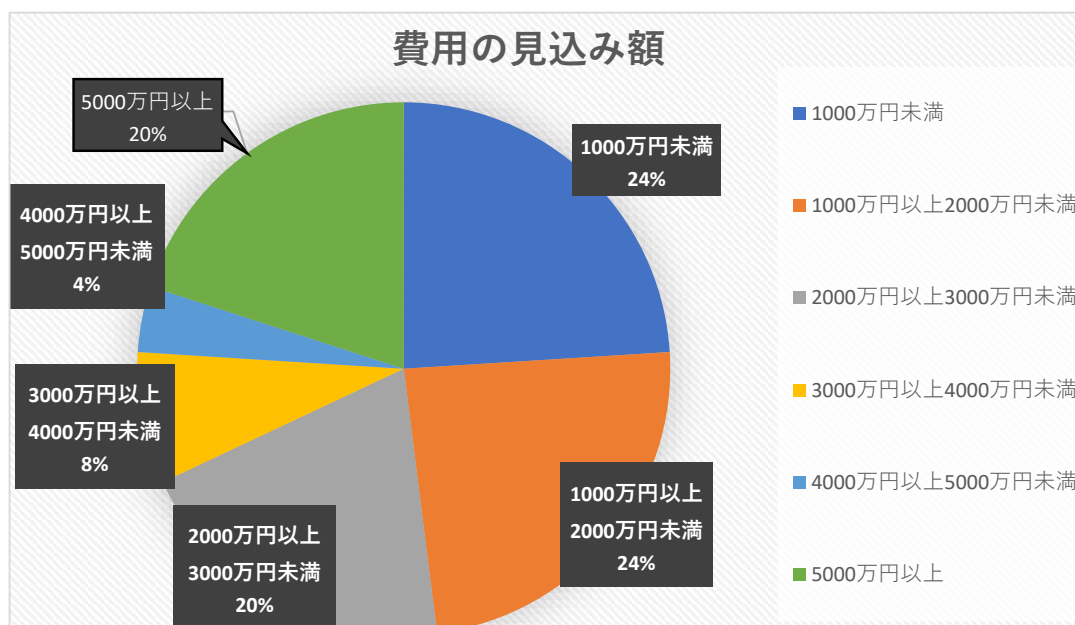
(5) 貴社の今後の事業再構築（新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編など）の意向は次のうちどれですか？



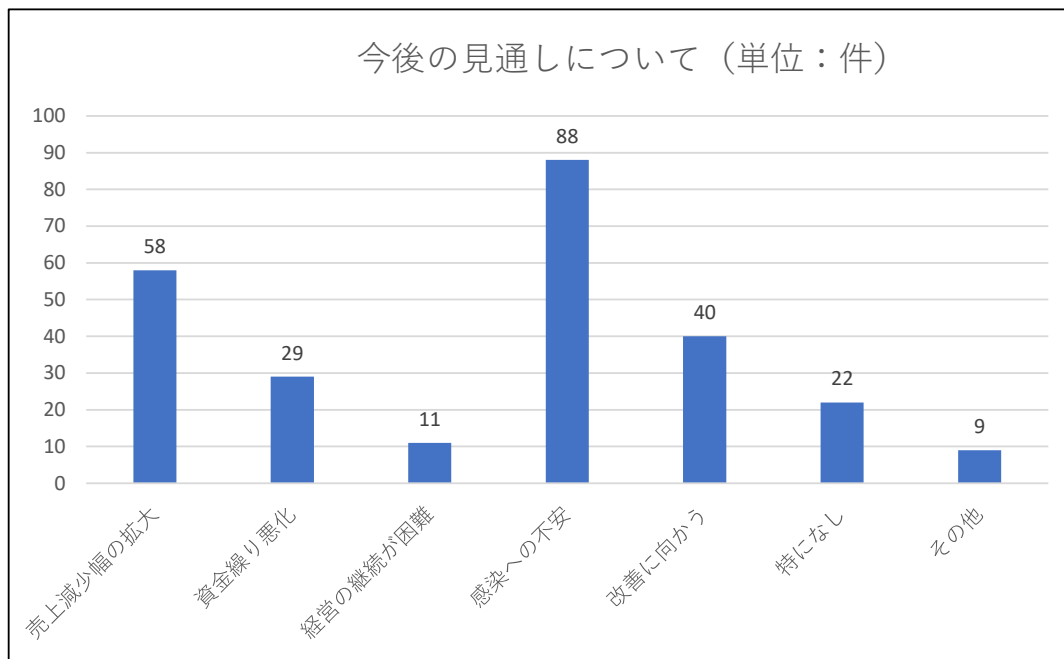
(6-1) どのような事業再構築を行っている、または考えていますか。

製造加工業	組織体制の構造改革、高付加価値化、脱炭素社会に対応している分野を進めていく、新分野展開を現在も実施中（一部）、働き方改革（在宅勤務、短時間、副業・兼業）を検討中、生産体制の再構築、客の選別・集中、他業種品の製造販売、新規顧客獲得、作業効率化、新商品開発、人員移動を伴う兵庫工場の事業内容等の見直し他、サブスク事業（システム販売、ライセンス契約）、半導体関連の石英ガラス加工部品、工程の自動化
製造販売業	発展性のある業種の連携、家庭用品開発のスピード化、デジタル化による新機種参入、新作業スペースの改修、新規取引先の拡充、業種転換
建設業	確認申請の許可が出たら新工場建設を考えている、休眠事業の再開と新分野へ準備
卸売業	
小売業	現況はどの商品も競合店同士も同質化し、いろんなF.テイストを交雑し新たな雑種のテイストへ挑戦の段取り中です、本業に関連した事業、非対面ビジネスの取り組み、インターネットによる販売、板金・塗装・修理、コインランドリー、施行ブースを備えたコーティング、農業、事業の縮小・再編（仕入事業者の縮小のため）
飲食業	テイクアウトの強化と新規事業、テイクアウトのメニュー強化、設備拡充、業種転換
サービス業	コンサル業務、実施プログラムの見直しなど、中古車販売、経営の見直し、工賃単価のUP、最新鋭ミラーレスカメラ・ドローンの導入、休眠業務の活用と新分野へ準備
運送業	減便による経費削減
その他	同介護業界での新分野への展開

(6-2) 事業再構築に際して、どの程度の費用を見込んでいますか

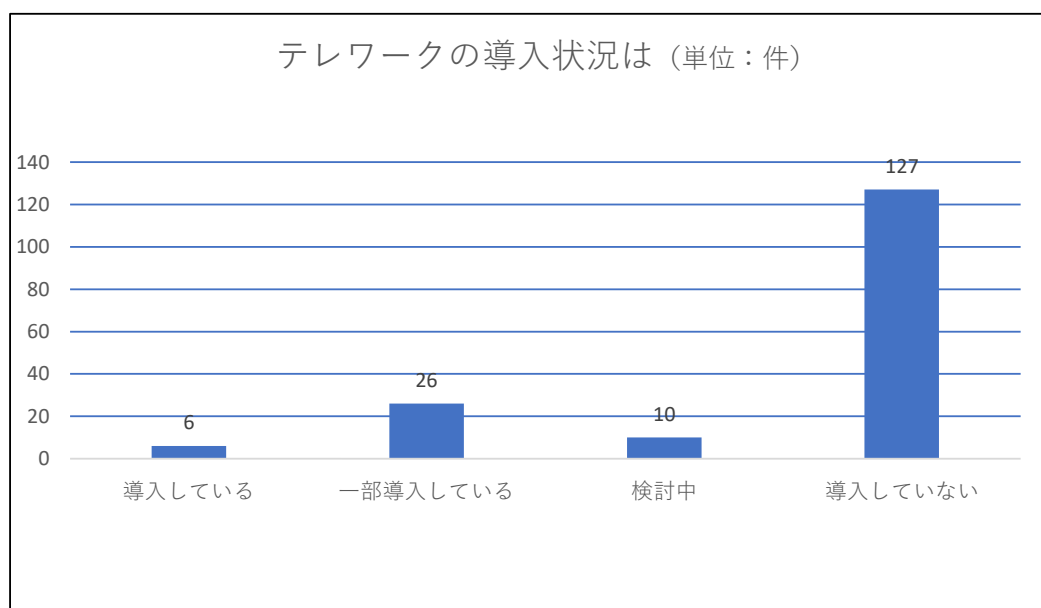


(7) 今後の見通しについて教えてください（複数回答可）

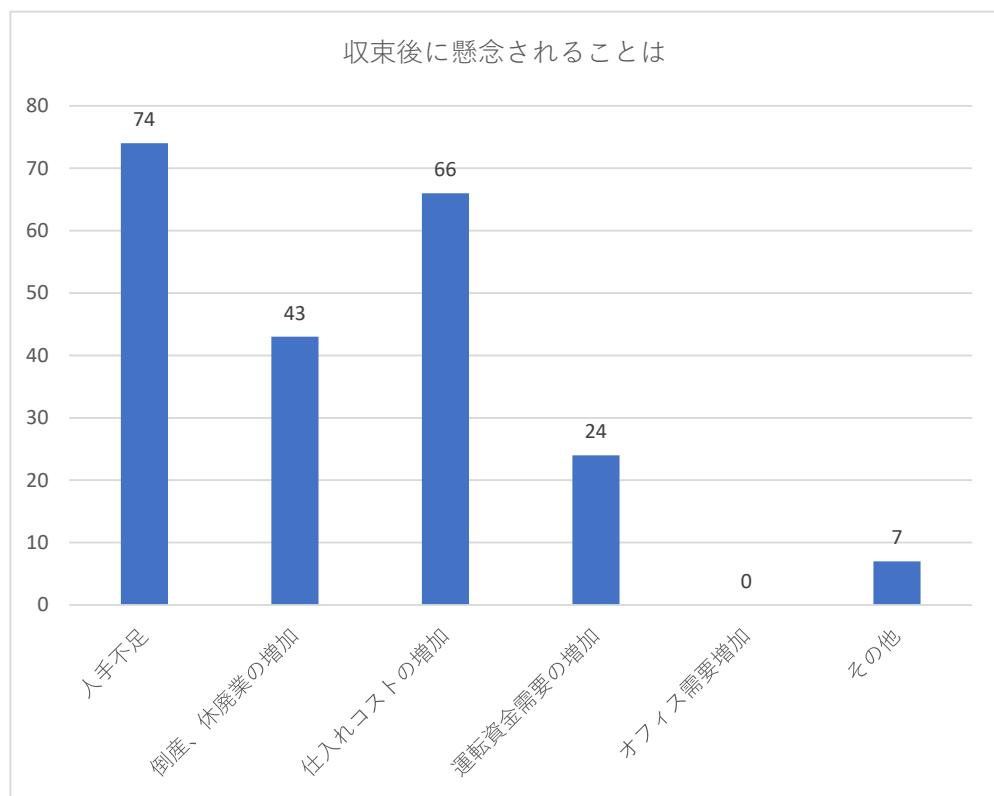


※その他 材料の値上げ、見通しの予測がつきにくい

(8) テレワークを導入していますか



(9) コロナ禍収束した後に懸念されることは何ですか（複数回答可）



コロナで少しは注文が増えた。収束後減少の恐れあり、現時点では収束時期等不明、
収束後に利用者が以前の様に戻ってくるのか治療薬が出ない限り見通しができない、
その他 コロナ以前のような生活スタイルには戻らないので苦しい日々が続く可能性がある、
社会構造の変化